

2026年2月期 決算説明会

2026年4月16日

代表取締役社長 河田 淳



- 1** 2026年2月期 決算概要
- 2 2027年2月期 業績見通し
- 3 2027年2月期 重点取り組み
- 4 参考資料

2026.2期 連結業績

2026.2期の連結売上高、連結営業/経常利益は
増収増益となり、過去最高を更新

連結売上高：49,635百万円（前期比+1.0%）

連結営業利益：2,961百万円（前期比+3.1%）

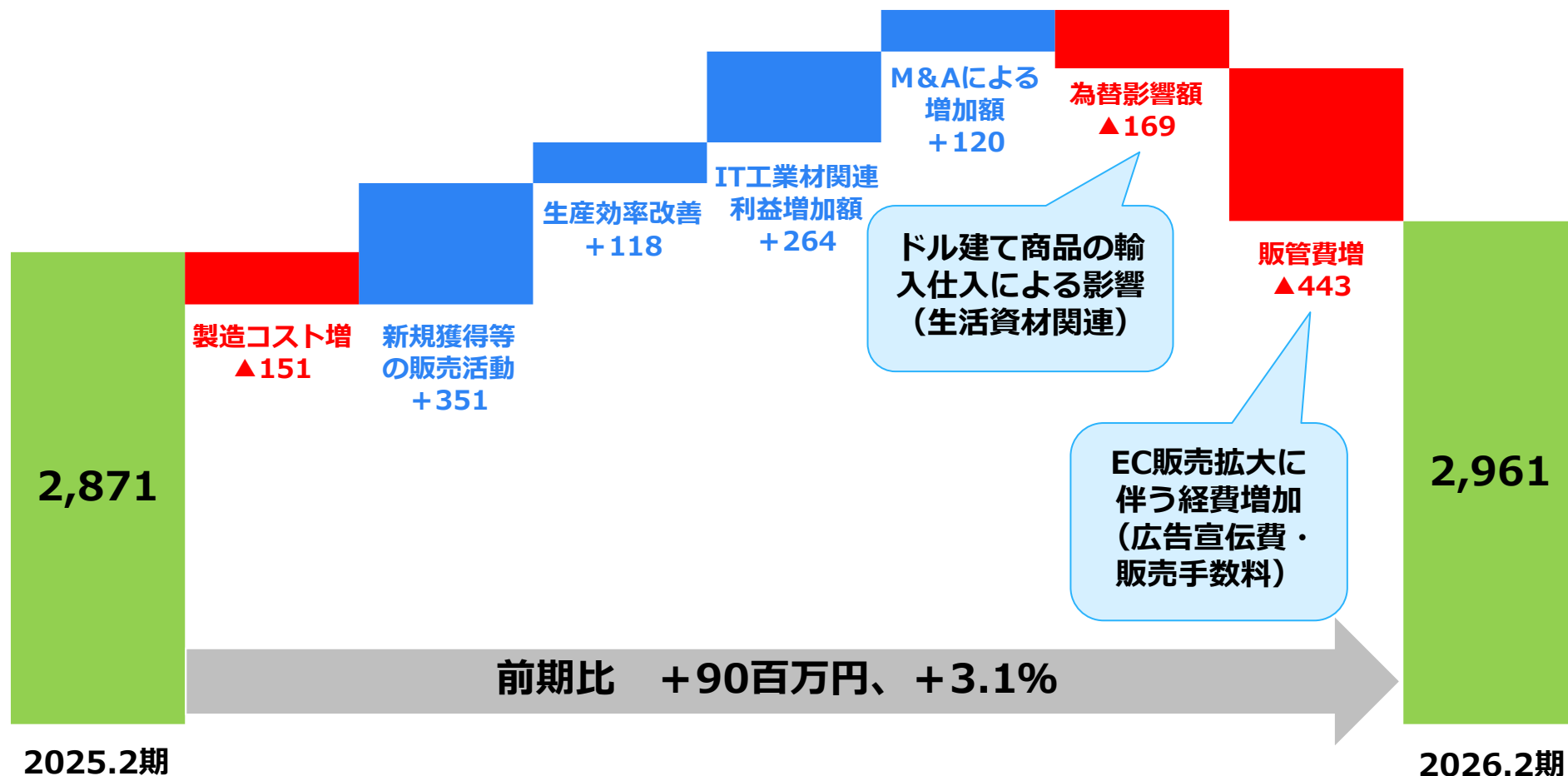
連結経常利益：3,054百万円（前期比+5.0%）

- ☀ 乳製品や水産加工品向け包材、冷凍食品が好調に推移したこと、国内子会社の貢献により食品関連は増収増益。
- ☀ IT・工業材関連では電子用途向け機能性材料やスマートフォン用途、半導体関連、自動車内装材などが堅調に推移したことにより増収増益。
- ☂ 連結売上/利益ともに前期比微増となったものの、国内/海外子会社の一部の予算大幅未達により計画は下回った。

営業利益増減要因（前期比）

【連結営業利益】

(単位：百万円)
※百万円未満切捨



決算ハイライト

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

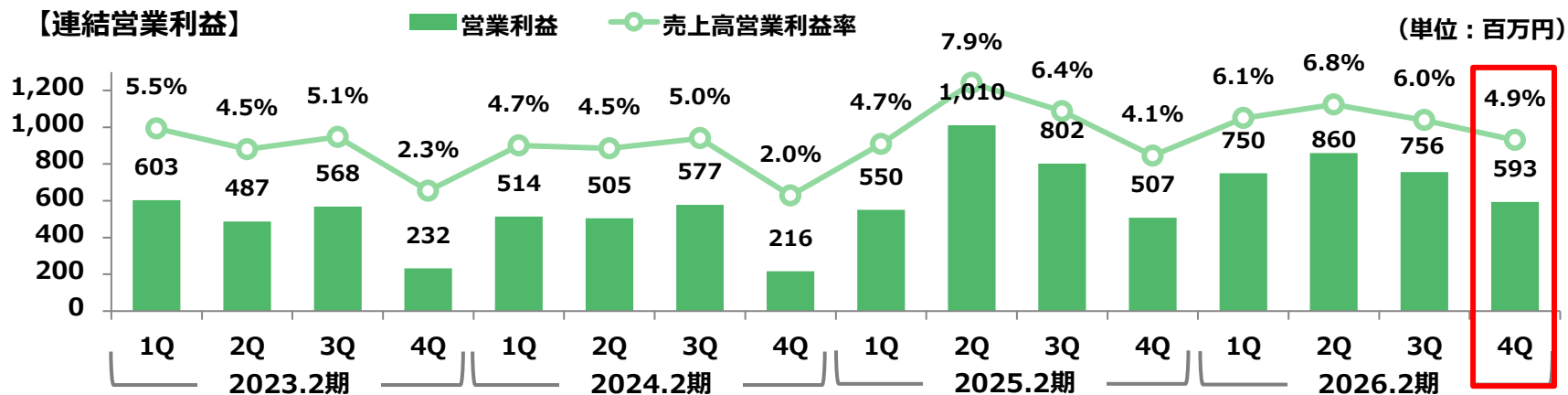
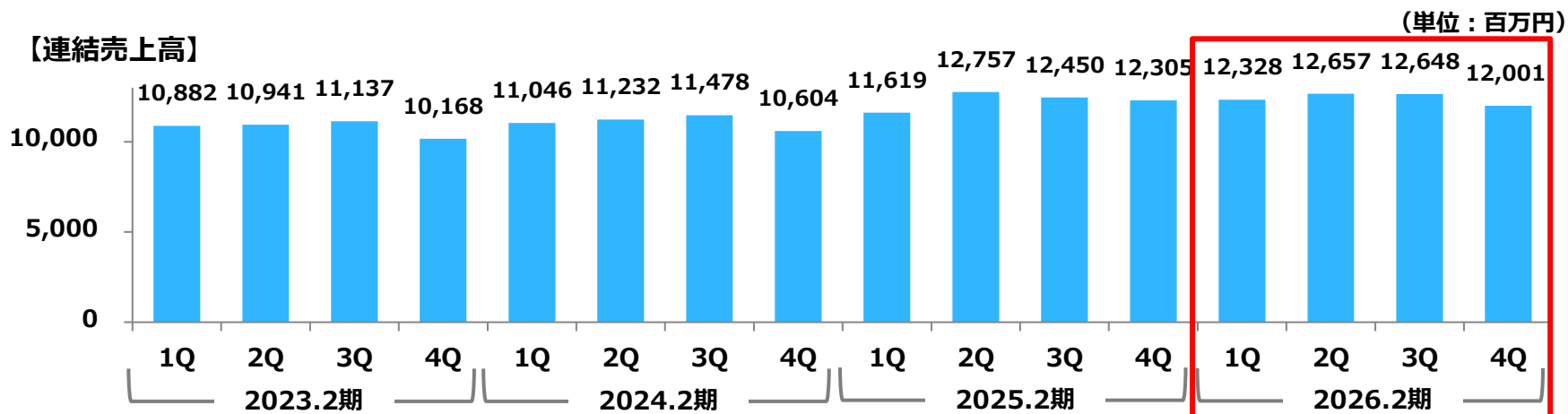
	2025.2期 実績	2026.2期					
		実績	前期比		計画	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	49,132	49,635	+503	+1.0%	52,000	▲2,364	▲4.5%
売上総利益	8,604 (17.5%)	9,137 (18.4%)	+533	+6.2%	9,395 (18.1%)	▲257	▲2.7%
販管費	5,733 (11.7%)	6,176 (12.4%)	+443	+7.7%	6,370 (12.3%)	▲193	▲3.0%
営業利益	2,871 (5.8%)	2,961 (6.0%)	+90	+3.1%	3,025 (5.8%)	▲63	▲2.1%
経常利益	2,908 (5.9%)	3,054 (6.2%)	+146	+5.0%	3,100 (6.0%)	▲45	▲1.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,010 (4.1%)	2,175 (4.4%)	+165	+8.2%	2,011 (3.9%)	+164	+8.2%
設備投資額*1	1,296	1,472	+175	+13.6%	1,950	▲478	▲24.5%
減価償却費*2	1,288	1,259	▲29	▲2.3%	1,274	▲14	▲1.2%

*1：設備投資額には建設仮勘定は含まない

(注)換算レート 2026.2期 22.32円/元 156.54円/ドル

四半期毎 売上・営業利益推移

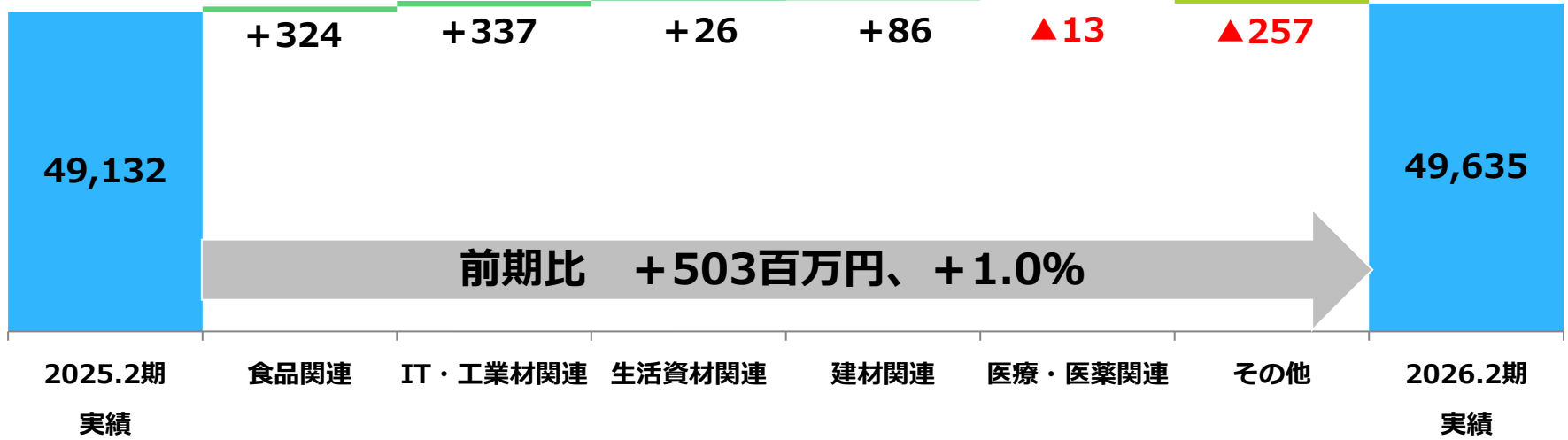
- ・ 電子用途向け機能性材料、スマートフォン用途、半導体関連が堅調
- ・ 生活資材関連で利益率の高い自社商品の販売が増加
- ・ 2026年2月期は過去最高の売上と利益を達成
- ・ 4Qの営業利益は2期連続で過去最高を更新



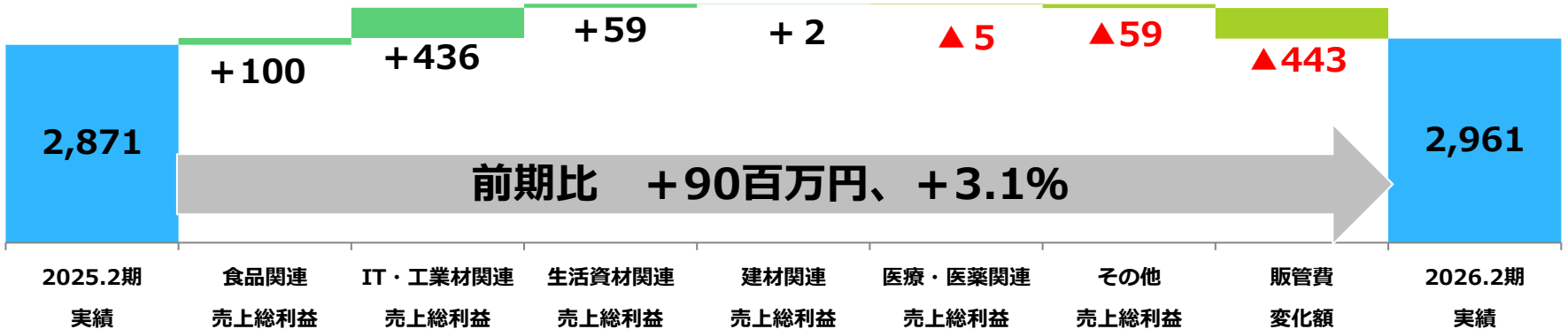
用途別売上高・営業利益増減要因（前期比） 中本パックス株式会社

【連結売上高】

(単位：百万円)
※百万円未満切捨



【連結営業利益】



用途別売上高・営業利益増減要因（計画比）

【連結売上高】

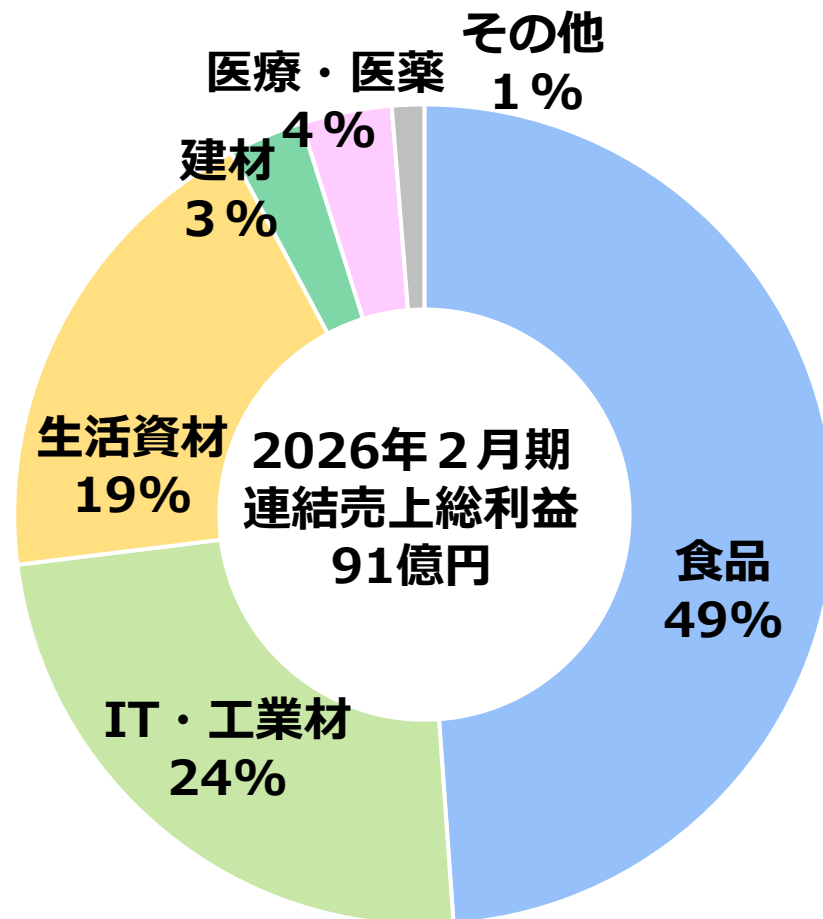
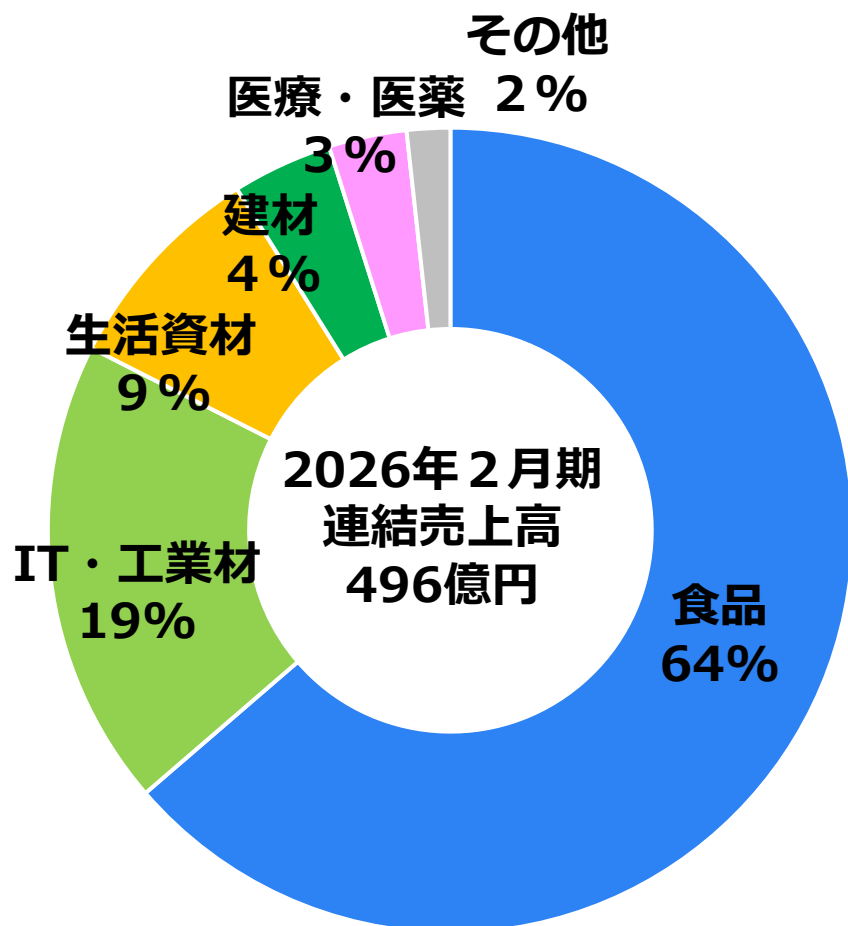
（単位：百万円）
※百万円未満切捨



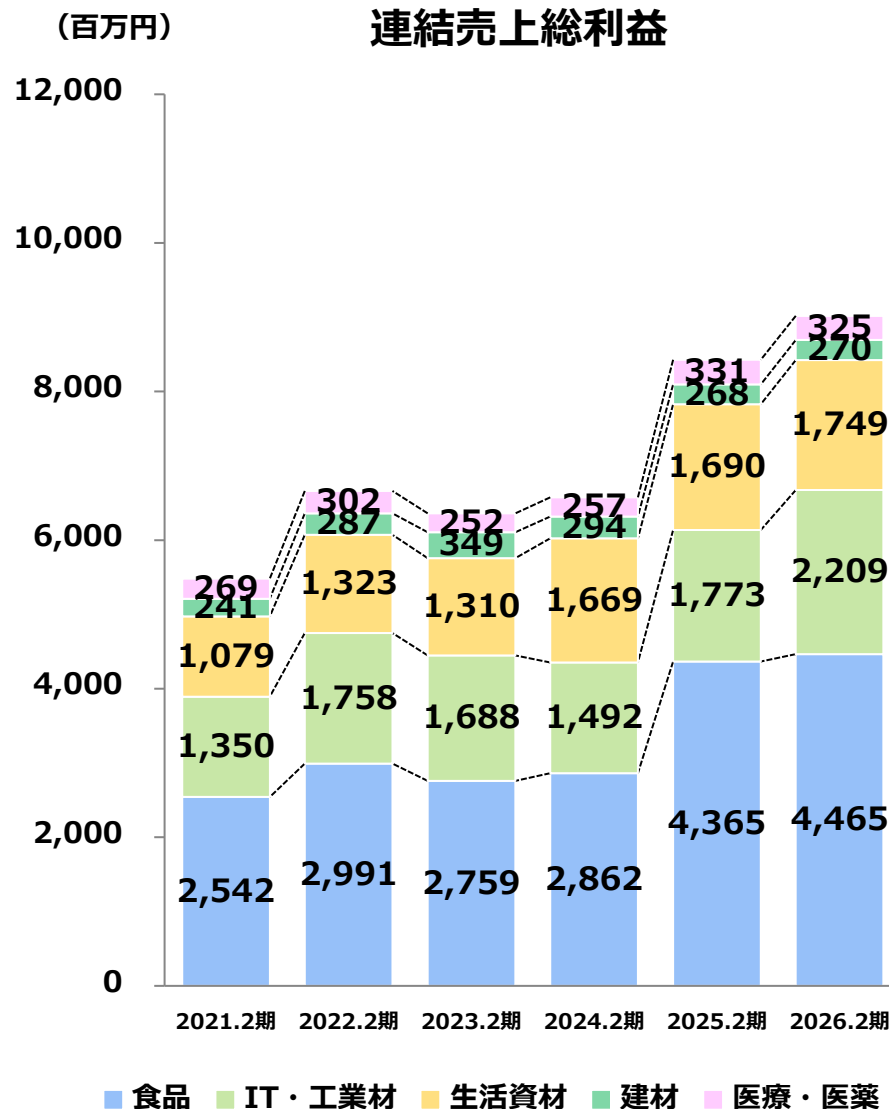
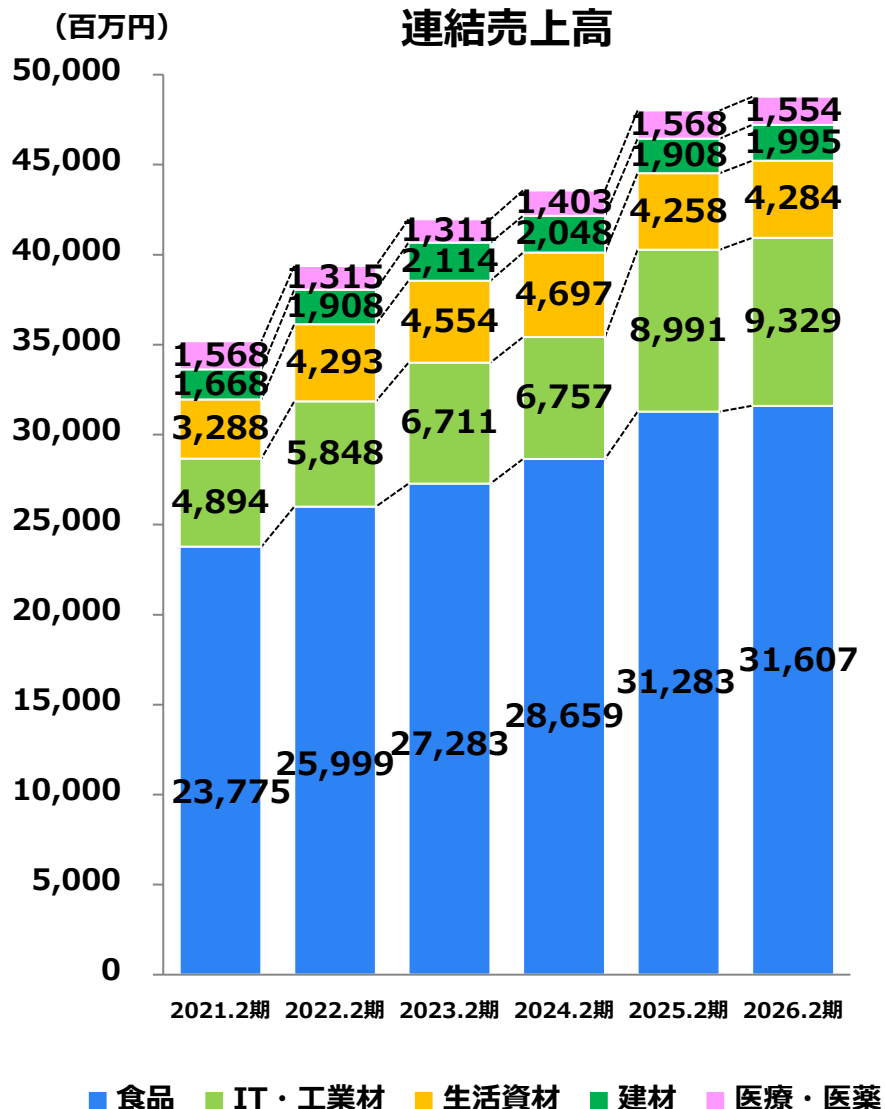
【連結営業利益】



用途分類別売上高と売上総利益比率

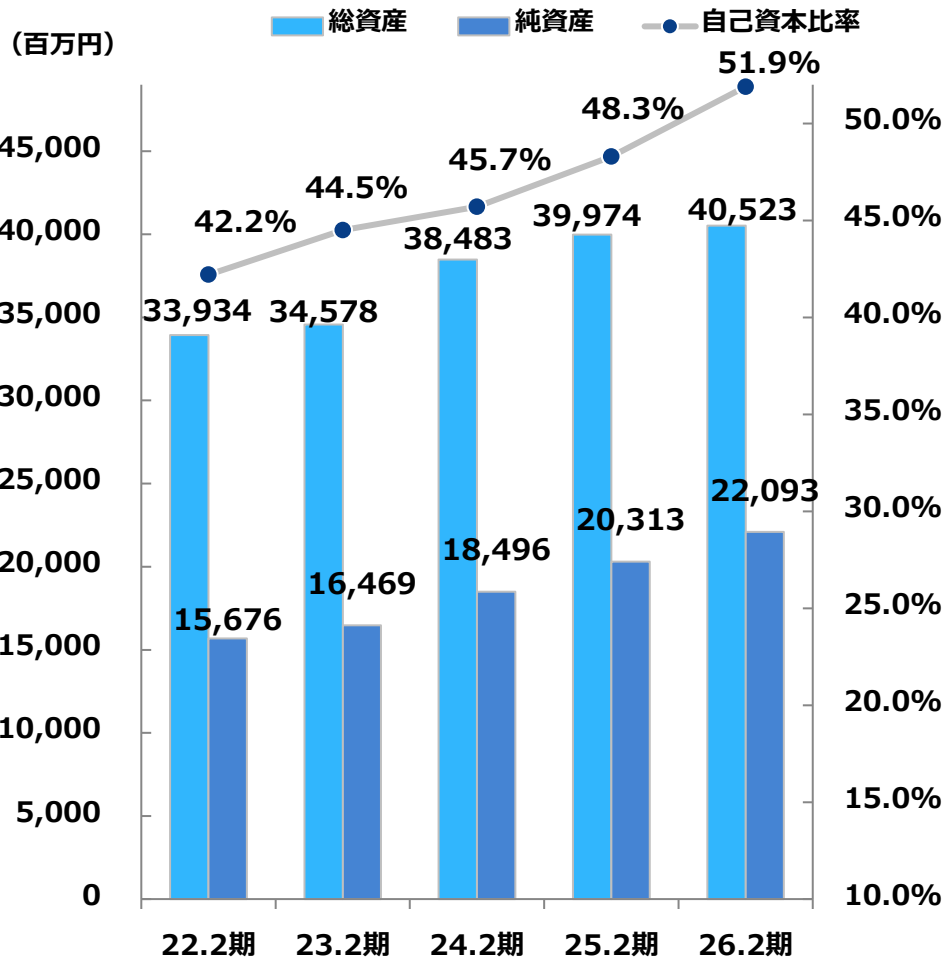


用途別売上高・売上総利益の推移

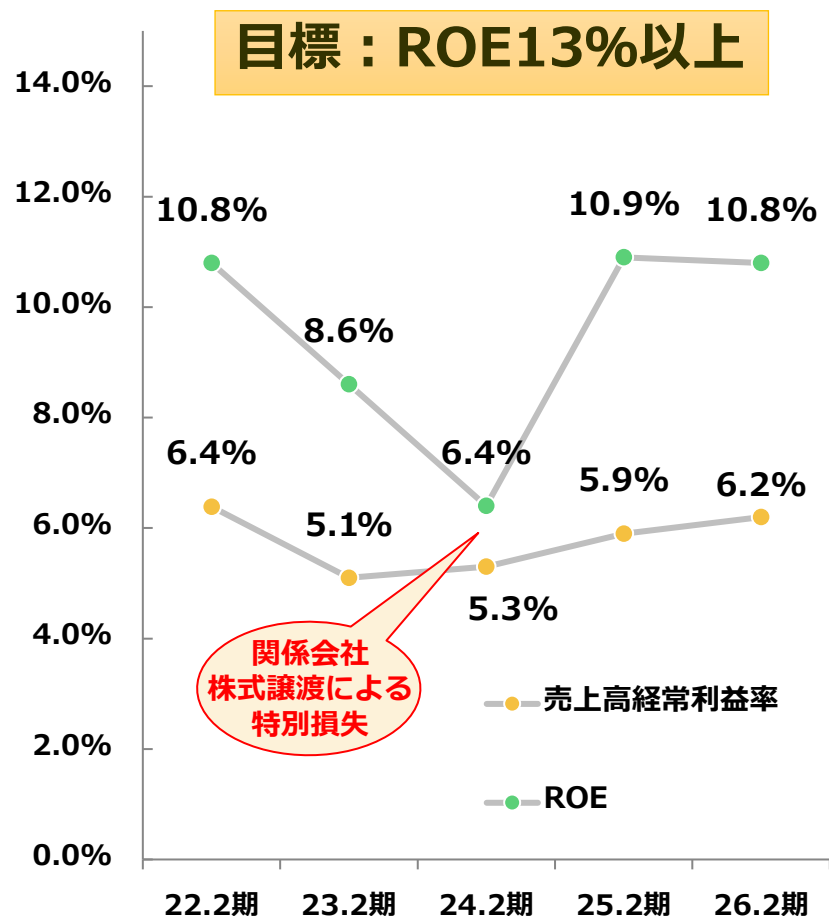


堅調な業績を背景に、自己資本比率は50%を超えた ROEは10%オーバーを維持

総資産・純資産・自己資本比率



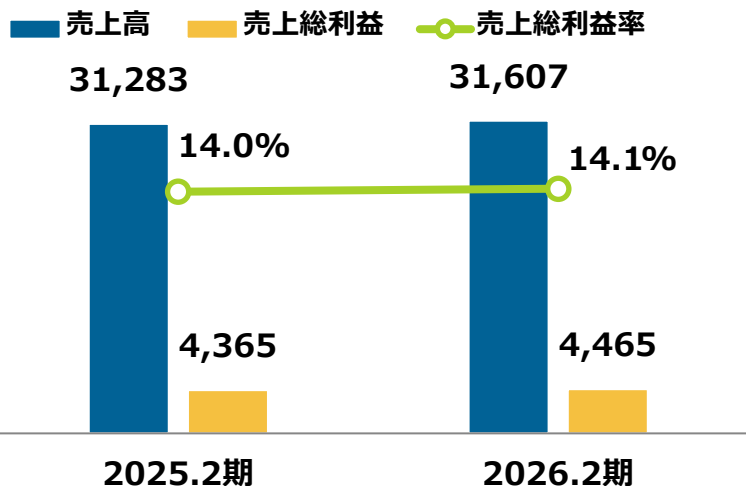
売上高経常利益率・ROE



用途別状況 食品関連

食品関連

(単位：百万円)



■ 主要製品別販売状況（2026年2月期）

加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品が好調 ・豆腐用包材が堅調 ・ソーセージなどの食肉加工品向けパッケージが好調
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のチーズなどが増加
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・容器成型加工は伸び悩み
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> ・水産加工品向け包材が増加 ・農産向けフードパックが堅調

当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器イメージ



飲料蓋

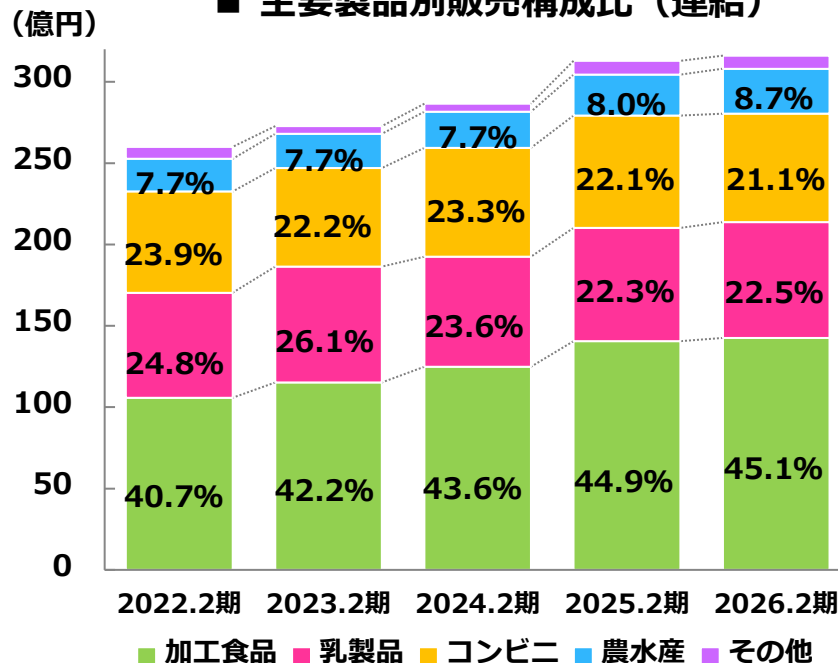


食肉加工向けパッケージ
(ソーセージ)



デイリー食品容器

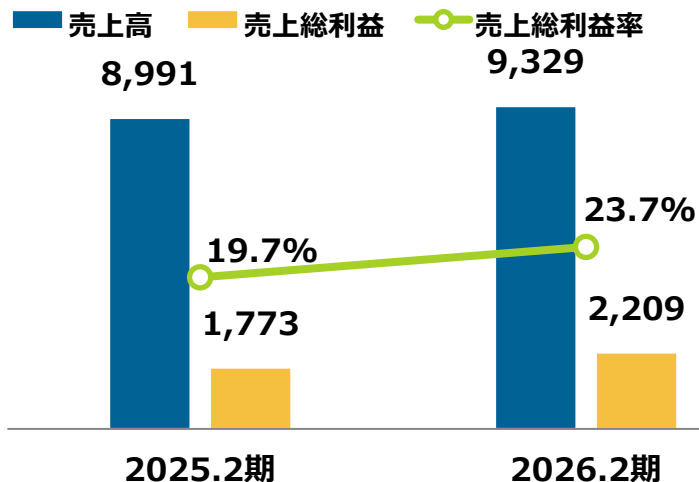
■ 主要製品別販売構成比（連結）



用途別状況 IT・工業材関連

IT・工業材関連

(単位：百万円)



■ 主要製品別販売状況 (2026年2月期)

産業資材関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業向け重袋が堅調 ・ 産業資材向けの多層ナイロン共押出袋が増加
モバイル機器関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォン用途が堅調
半導体関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 半導体、電子部品用製造工程フィルムが堅調
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車内装材が堅調
二次電池関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2026年のテストコーター導入前のスポット受注
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種開発案件が増加

当社製品 採用例



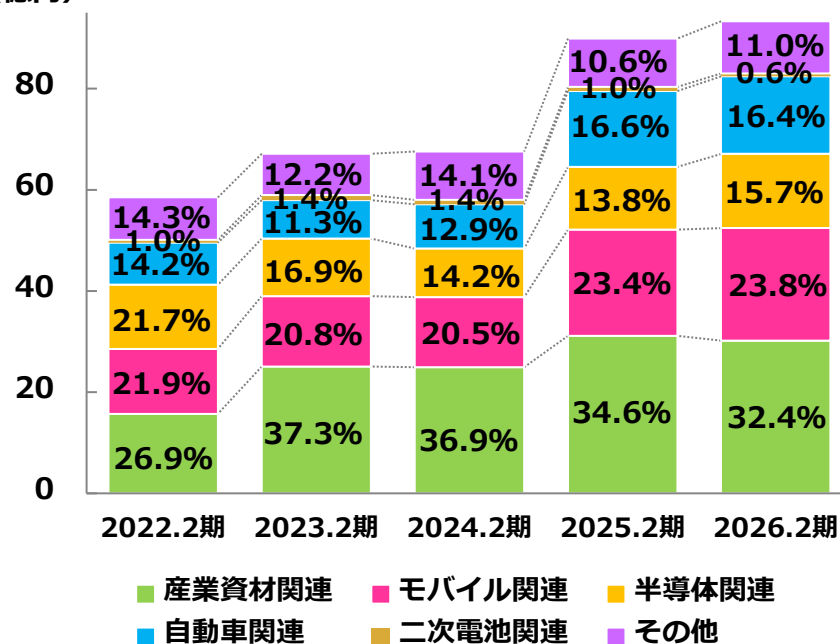
各種工程フィルム



NSセバ

■ 主要製品別販売構成比 (連結)

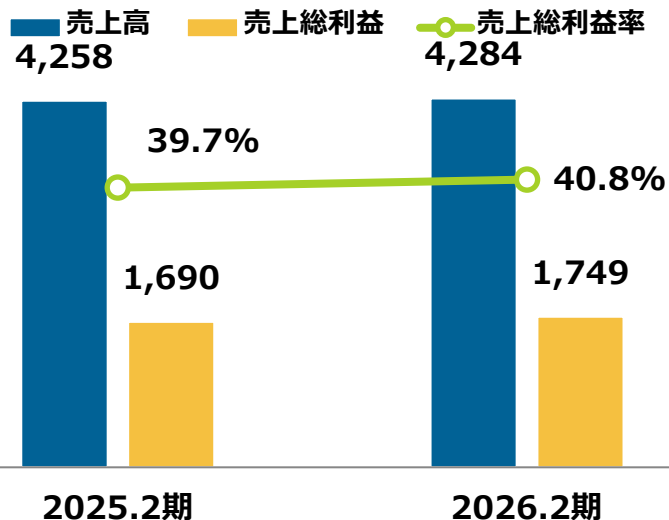
(億円)



用途別状況 生活資材関連

生活資材関連

(単位：百万円)



■ 主要製品別販売状況（2026年2月期）

圧縮袋・衣類関連	・TVショッピング放映枠縮小の影響で減少 ・収納関連商材や防ダニ関連商材の売上が商品力と営業力により増加
キッチン/衛生関連	・利益率の高い自社商品の販売が好調
DIY・インテリア・エコ関連	・キッチンマットが増加
理美容・健康関連	・毛染関係（くし、手袋）が堅調

当社製品 採用例



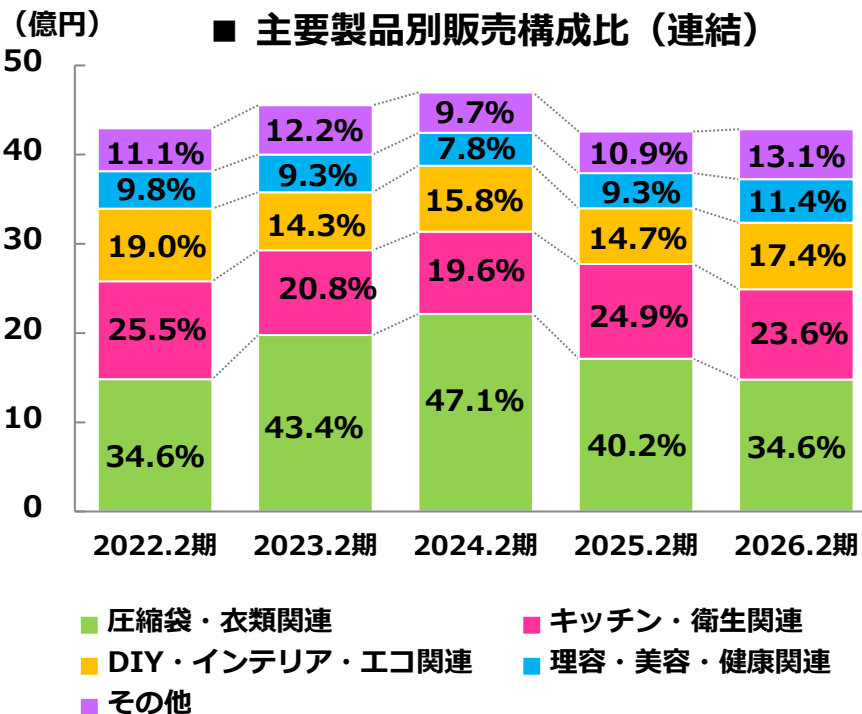
エアコン室外機用遮熱シール フライパンシートにもなるまな板シート



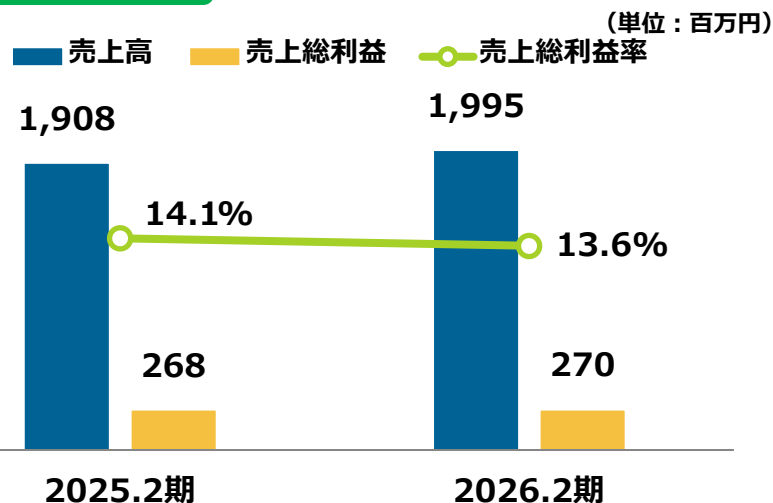
ワッフルシートたわし



圧縮袋一体型ボックス



建材関連



■ 主要製品別販売状況 (2026年2月期)

住宅関連	<ul style="list-style-type: none"> ・建材業界は引き続き仕事量が少ない ・比較的高収益な製品の販売が堅調 ・新規案件の受注が寄与 ・表面機能コーティングを施した建材の受注減少
家具関連	<ul style="list-style-type: none"> ・海外向け案件は微減

■ Nコート

Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



当社製品 採用例



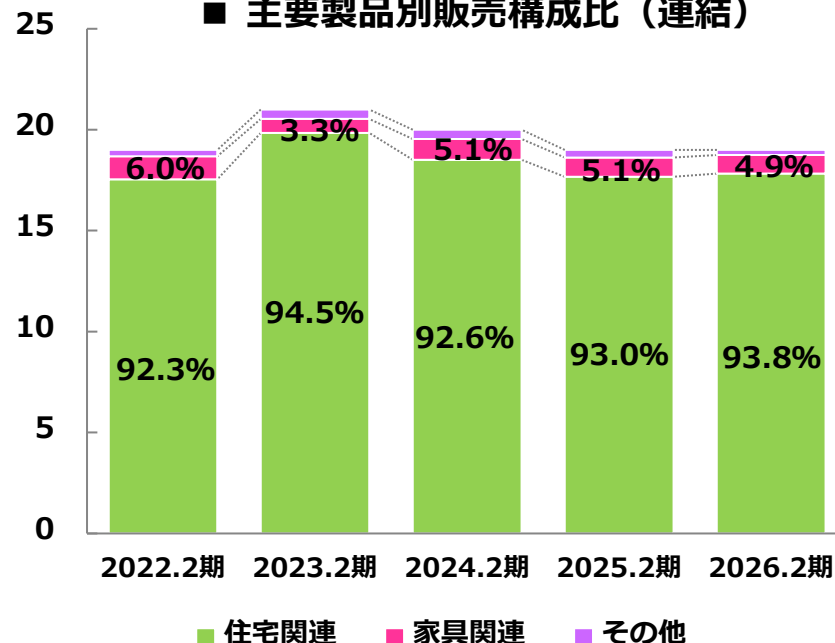
キッチン



クローゼット

(億円)

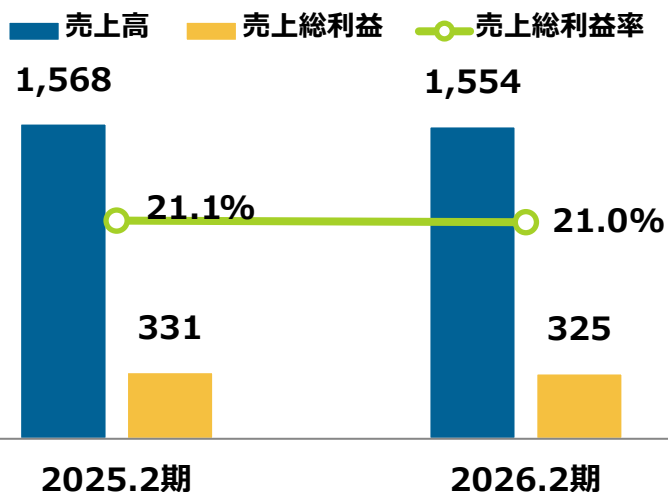
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



用途別状況 医療・医薬関連

医療・医薬関連

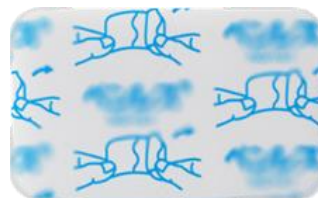
(単位：百万円)



■ 主要製品別販売状況 (2026年2月期)

貼付剤関連	<ul style="list-style-type: none"> 比較的高価格帯の貼付剤向けが増加 一部の製品で原材料が高騰
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> 医療用の包装袋が堅調 輸液関連包材が減少
市販薬関連	<ul style="list-style-type: none"> 市販薬用包材が堅調

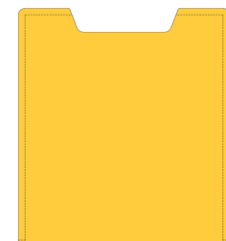
当社製品 採用例



麻酔テープ

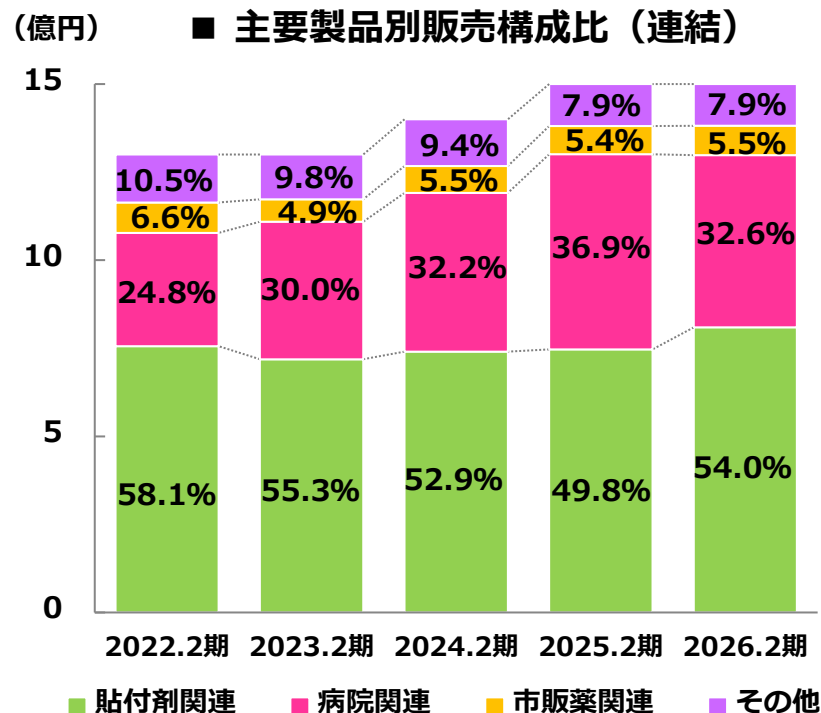


シャーレ用包装袋



輸液用遮光カバー

■ 主要製品別販売構成比 (連結)



資産・負債の状況

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2025.2末	2026.2末	2026.2末	
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	24,714 (61.8%)	25,240 (62.3%)	+526	受取手形、売掛金及び契約資産▲323、 貸倒引当金+205（流動資産は減少）、 電子記録債権+552、短期貸付金+314、 その他+217
固定資産	15,260 (38.2%)	15,282 (37.7%)	+22	有形固定資産▲112、無形固定資産▲84、 投資その他の資産+219
資産合計	39,974 (100.0%)	40,523 (100.0%)	+548	
流動負債	16,220 (40.6%)	14,934 (36.9%)	▲1,286	その他+130、支払手形及び買掛金▲771、 短期借入金▲600、 関係会社整理損失引当金▲205
固定負債	3,440 (8.6%)	3,495 (8.6%)	+54	リース債務▲145、長期借入金+90、 繰延税金負債+109
負債合計	19,661 (49.2%)	18,429 (45.5%)	▲1,231	
純資産合計	20,313 (50.8%)	22,093 (54.5%)	+1,780	自己株式+139（純資産は減少）、 利益剰余金+1,569、 退職給付に係る調整累計額+242
負債・純資産合計	39,974 (100.0%)	40,523 (100.0%)	+548	
ネット有利子負債	632 (1.6%)	91 (0.2%)	▲541	短期借入金▲600、現金及び預金+14

ネット有利子負債 = (有利子負債 - 現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

		2025.2期 実績	実績	2026.2期
				概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,353	2,552	税金等調整前当期純利益+3,372、減価償却費+1,259、その他+141、関係会社株式売却益▲137、固定資産売却益▲113、売上債権の増加額▲359、仕入債務の減少額▲680、法人税等の支払額▲876	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,156	▲1,272	固定資産の売却による収入+212、投資有価証券の売却による収入+116、生産加工設備等の固定資産の取得による支出▲1,388、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出▲181	
フリー・キャッシュフロー	1,197	1,280		
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,240	▲1,277	長期借入れによる収入+1,200、短期借入金の純減額▲600、長期借入金の返済による支出▲1,045、自己株式の取得による支出▲139、配当金の支払額▲606	
現金及び現金同等物の換算差額	148	14		
現金及び現金同等物の増減額	105	17		
現金及び現金同等物の期首残高	7,446	7,552		
現金及び現金同等物の期末残高	7,552	7,569		

- 1 2026年2月期 決算概要
- 2 2027年2月期 業績見通し**
- 3 2027年2月期 重点取り組み
- 4 参考資料

当期の業績見通し（概況）

2026.2期まで

食品関連

- ・ 既存のチーズなどの乳製品、水産加工品向け包材、冷凍食品が増加
- ・ 豆腐用包材や農産向けフードパックが堅調
- ・ 連結子会社化した中本アドバンスフィルムが売上及び利益に寄与

IT・工業材関連

- ・ 電子用途向け機能性材料やスマートフォン用途、半導体関連、自動車内装材、製造業向け重袋が総じて堅調に推移
- ・ 次世代電池関連はスポット案件があった

生活資材関連

- ・ 収納関連商材や防ダニ関連商材の売上が増加
- ・ 利益率の高い商品のEC販売が好調
- ・ 国内不況、円安、米国関税による中国勢との競合続き伸び悩み

建材関連

- ・ 建材業界は引き続き仕事量が少ない
- ・ 表面機能コーティング建材の受注が減少
- ・ 比較的高収益な製品の販売が堅調

医療・医薬関連

- ・ 比較的高価格帯の貼付剤向けが増加
- ・ 病院関連の輸液関係包材が減少
- ・ 医療用の包装袋が堅調

現況・2027.2期以降

- ・ 環境対応包材、機能性包材の取組強化
トップシールの採用拡大と利益貢献
- ・ 中本アドバンスフィルムの新なる成長と売上/利益貢献
- ・ 食品用紙容器印刷を大量に受注予定
- ・ **中東情勢により製造コストは更に上昇
原材料、インキ確保、コスト改善徹底**

- ・ 引き続きスマートフォン用途及び半導体関連の堅調な受注を見込む。
- ・ 半導体関連では新規案件の受注見込み
- ・ 次世代電池関連や成長分野の試作、量産化推進・新工場の本稼働開始
- ・ **溶剤の確保、安定供給**

- ・ ベトナム自社設備での製造、開発、差別化
- ・ 新商品の開発、販路拡大の継続
- ・ 円安、米国関税による中国勢との競合続く

- ・ 営業活動を強化し、新規案件獲得に努める
- ・ 新機能性建材の取り組みにより生産効率向上を図る

- ・ 輸液関連の新規開発案件の拡販

設備投資・減価償却費 計画

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2026.2期 実績	2027.2期 計画	2027.2期 前期比	
			差額	比率
減価償却費	1,259 (2.5%)	1,373 (2.6%)	+113	+9.0%

【2027.2期の主な設備投資】

件名	内容	投資金額（億円）
工場・生産設備	テストコーター（埼玉）、改修工事(竜ヶ崎・筑波等)、印刷機等更新工事(埼玉・竜ヶ崎等)、成型機(中本Fine Pack)、製袋機(中本アドバンスフィルム)他	約11.3億円
IT化・システム付帯設備	太陽光発電システム（中本アドバンスフィルム）、基幹システム関連他	約0.5億円
空調関連	空調設備(柏原・埼玉・竜ヶ崎・筑波・蘇州)	約1.4億円
検査・測定・分析機器	検査・測定・分析機器(名張・埼玉・筑波・技術開発等)	約2.0億円

当期の業績見通し

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2026.2期 実績	計画	2027.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	49,635	52,000	+ 2,364	+ 4.8%
売上総利益	9,137 (18.4%)	9,690 (18.6%)	+ 552	+ 6.0%
販管費	6,176 (12.4%)	6,425 (12.4%)	+ 248	+ 4.0%
営業利益	2,961 (6.0%)	3,265 (6.3%)	+ 303	+ 10.3%
経常利益	3,054 (6.2%)	3,450 (6.6%)	+ 395	+ 12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,175 (4.4%)	2,183 (4.2%)	+ 7	+ 0.3%

想定為替レート 20.1円/元 142.0円/ドル

- 1 2026年2月期 決算概要
- 2 2027年2月期 業績見通し
- 3 2027年2月期 重点取り組み**
- 4 参考資料

- 1. 中東情勢の中、原材料の安定調達・製品の安定供給**
- 2. 積極的なM&A（積極的な検討を継続）**
- 3. 環境経営の推進（RNSPの収益化）**
- 4. テストコーター立上げ（2次電池材料その他）**
- 5. 新研究開発拠点【R&Dセンター】の立上げ**
- 6. SCM部設立による生産の最適化**

対処すべき環境課題

環境問題	脱プラ	温暖化 CO ₂	大気汚染
------	-----	---------------------	------

当社の取り組み内容

原材料	薄肉化	バイオマス 生分解化	モノマテ化 リサイクル	紙化
インキ 接着剤	ノン トルエン化	バイオマス インキ	水性化	脱墨化
食品ロス削減	賞味期限延長	バリア包装	トップシール化	

印刷ロスを再生樹脂に加工するリペレット事業、太陽光発電導入、時間当たりの生産性アップ、設備の省エネ、各種効率化による、省資源、CO₂削減も進めております。

RNスマートパッケージング(株)ーRICOH(株)との取組状況

- 1.ラベルレスサーマルの更なる拡販（コンビニ、冷凍弁当、その他新規用途）
- 2.オリジナル自動蒸通機構「スマレンジ」の開発及び上市
- 3.RESC®の用途開発及び拡販

ラベルレスサーマル

環境負荷低減

プラスチック使用量削減可能
フードロス削減

生産性向上

直接印字で在庫削減

SKU削減

在庫管理業務削減



コンビニでの採用拡大

スマレンジ

自動蒸通機構「スマレンジ」

オリジナル製品



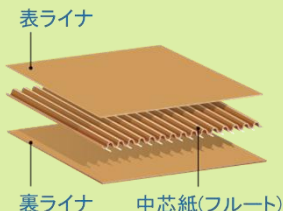
特殊インキを特殊な形状でフィルムにコーティング。
電子レンジ10秒でフィルムに微小な穴が空き、内部の圧力を放出すると共に、蒸らし効果で食材をおいしく温める事が出来る

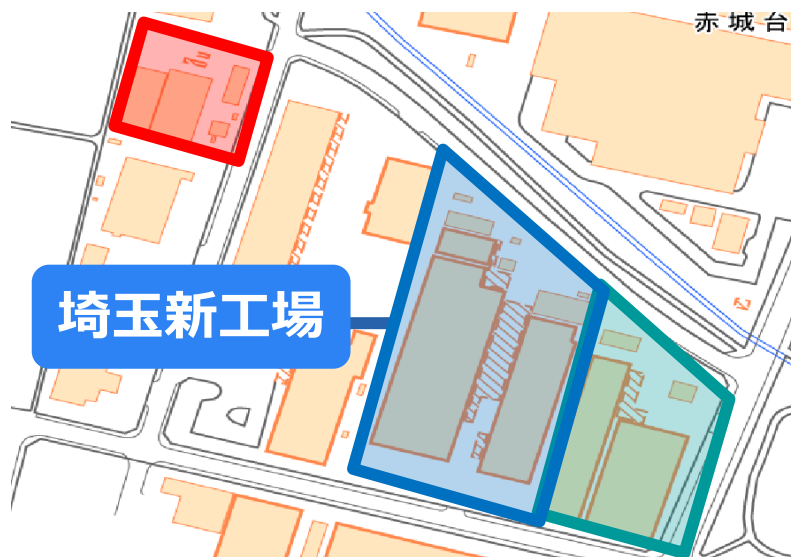
バリアコート紙 RESC®

・紙とバイオマス材料の複合品
→CO₂削減効果もある次世代SDGs対応パッケージング素材

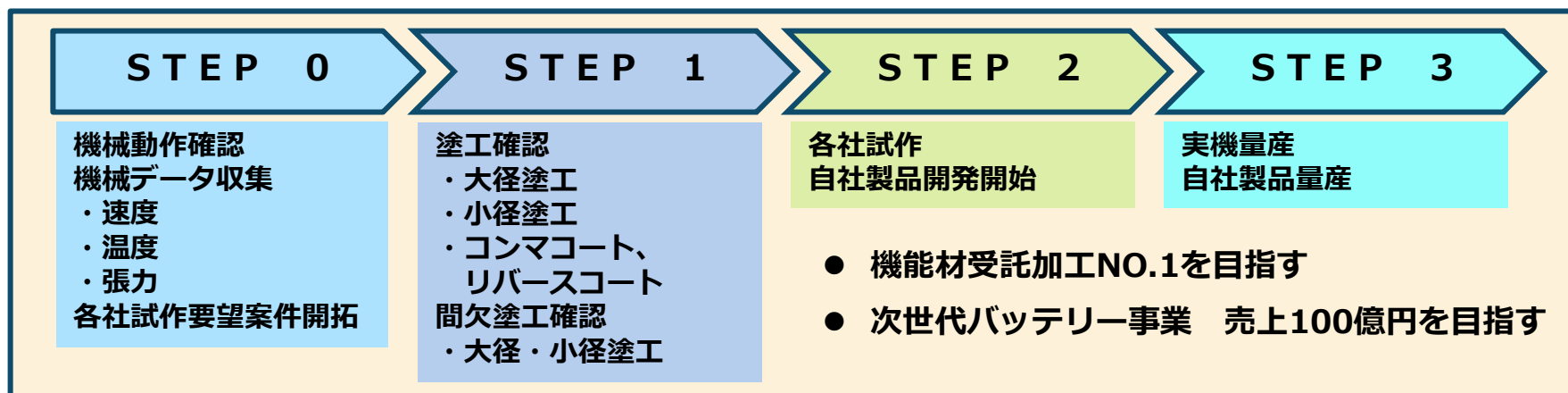
多様な性能

ガスバリア性・保香性・耐油性・リサイクル性
→鮮度保持、保湿性、保存性、臭い漏れ・移り香防止





昨年取得した埼玉新工場にテストコーターを導入、今6月から稼働開始





仕様	マルチコーター	テストコーター	量産コーター
塗工方式	大径グラビア 小径グラビア、 コンマコート	大径グラビア 小径グラビア、 コンマコート	大径グラビア・小径グラビア、 コンマコート、ダイコート、 ロータリースクリーン
間欠塗工	×	○	○
機械速度	1～10m/min	1～20m/min	10～250m/min
基材幅	～250mm	100～400mm	500～1700mm
乾燥温度	MAX150℃	MAX140℃	MAX220℃
使用塗材量	10g～	2kg～	10kg～
使用目的	開発初期段階	開発初期～中期	開発中期～量産

2次電池分野でのコンバーターNo.1を目指す

STEP

03

2030~

- ・ 量産ステージ
- ・ 2次電池部材
量産コーター導入

STEP

02

2027~

- ・ 国内ポジション確立
- ・ 海外展開及び更なる量産

STEP

01

2025~

- ・ 機能材新工場取得
- ・ 2次電池部材向け
テストコーター導入
（2026年5月）



添付写真はイメージです

**昨年取得した埼玉新工場内に研究開発拠点【R&Dセンター】の設立（2027年2月期中目標）を行う予定。
少量～中量試作、量産コーターのすぐ近くに分析装置を揃え、
研究開発の人員を配置する事で、効率よく、
よりスピーディに開発を進める事が可能となる。**



事業ブランド立ち上げの目的
中本パックスの「機能材事業」の
認知度向上（ワールドワイド展開）



2024年11月
→プロジェクト開始

2025年11月
→展示会にて披露

2026年3月
→ブランドサイト設立

2026年4月以降
→4月：業界紙への掲載
→4月：RDコーター機の稼働
→4月：メールでの配信開始
→9月：展示会への出展

**nbassの認知度向上に向けてブランドサイトを設立、
業界紙やメールでの配信を予定しております。**

生産工順の変更による物流費削減と生産性向上

- ・ 受注する(した)製品をどこで生産するか決めることを“工順設定”という
- ・ 主なメリットは全体(コスト)最適化、品質と納期の安定、BCPの強化

生産拠点を決める 3視点

1. 内製 or 外製
2. 中本 or グループ会社
3. 集中生産 or 分散生産

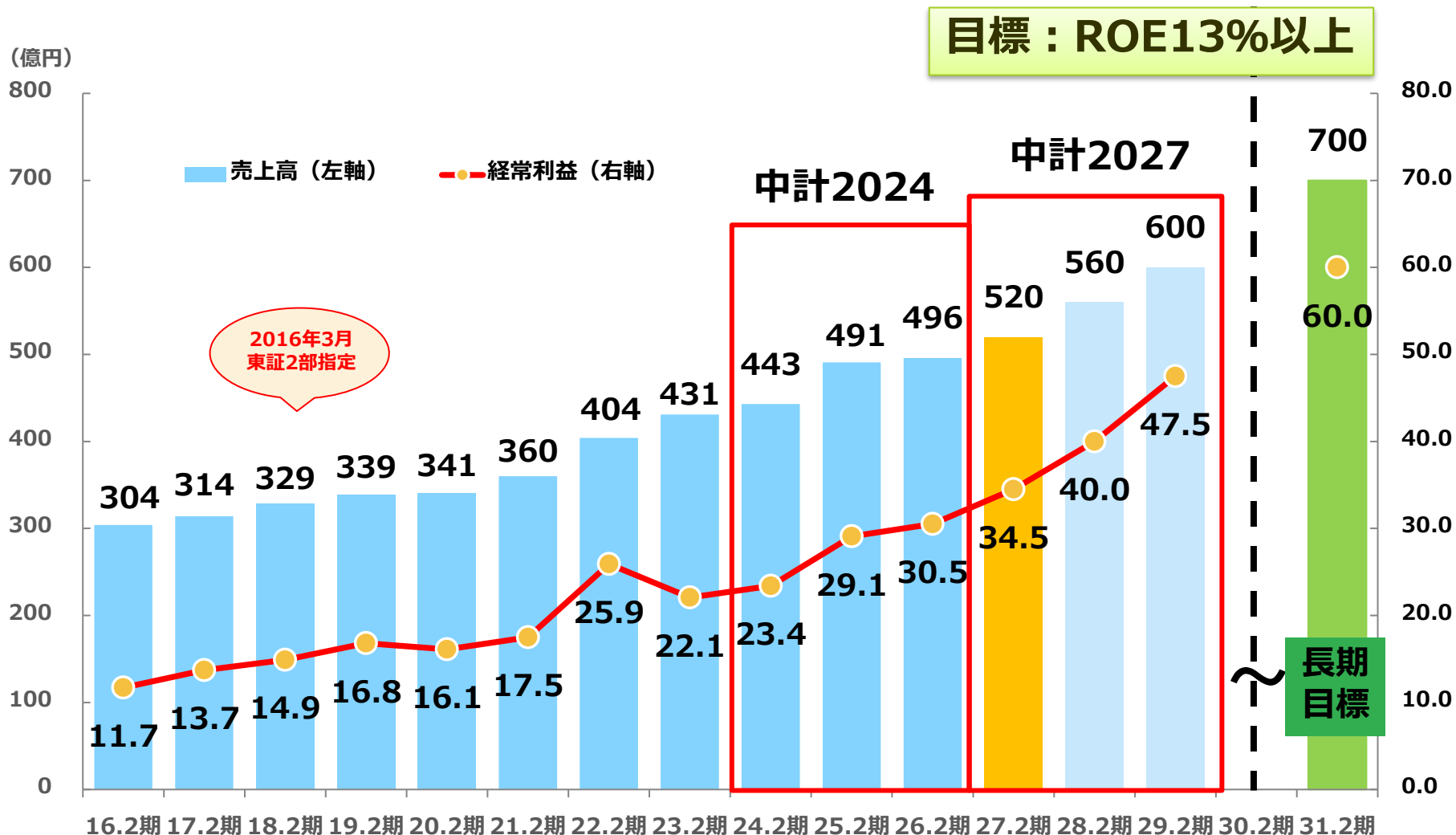
考慮すべき 6項目

1. 生産コスト(労務費、経費、償却費)
2. 輸送コスト(保管費、荷役費、輸送費)
3. 競争力(品質、生産性、生産能力)
4. 顧客要求(レスポンス)
5. サプライチェーンリスク
6. 技術流出リスク



中期業績目標（中期経営計画2027）

（2027年2月期～2029年2月期）

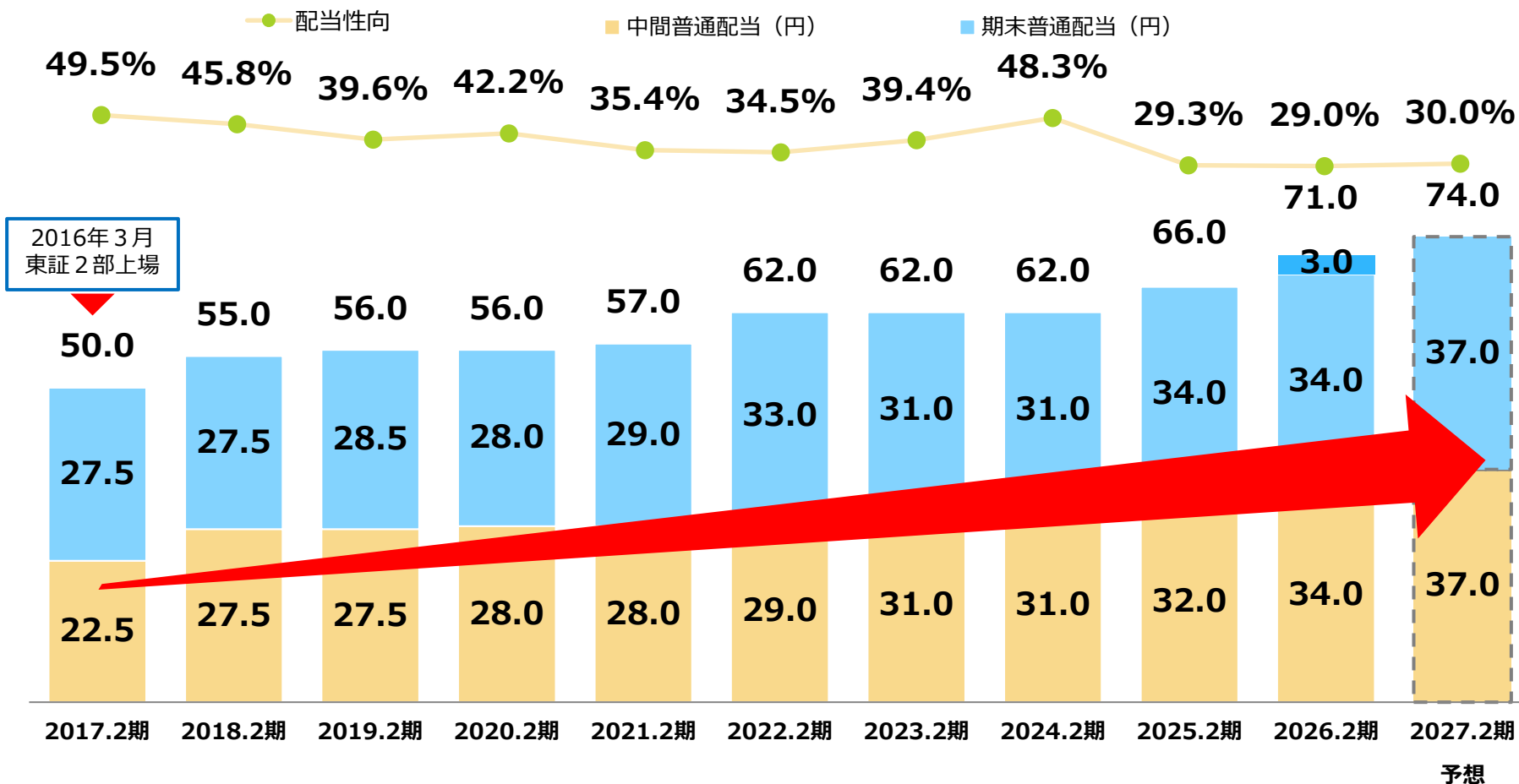


株主還元方針

- 将来の経営環境の変化に対応できるよう財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図りながら、安定配当をベースとして業績に裏付けられた適正な利益還元を行う方針です。

2027年2月期は3円増配の年間74円配当を予定

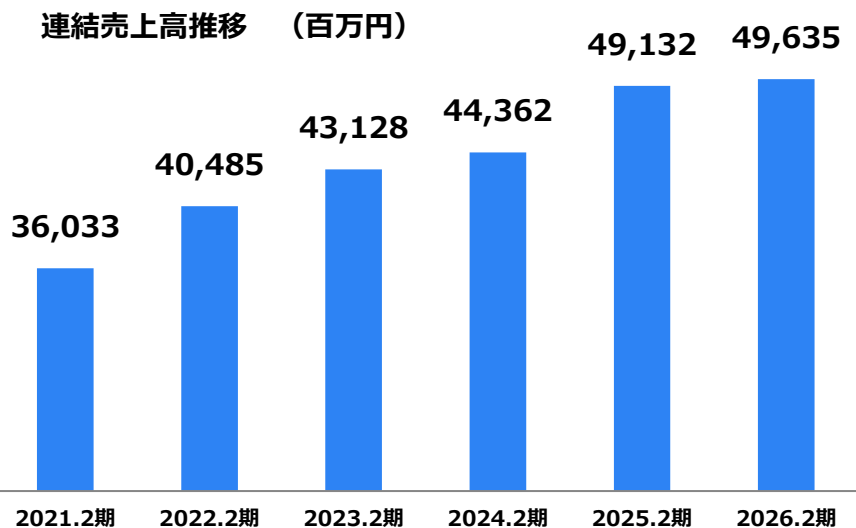
11年連続累進配当予定



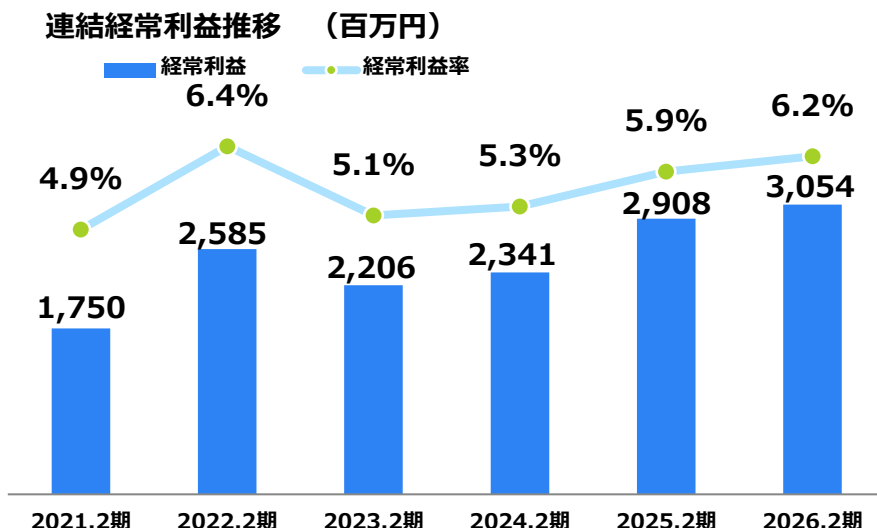
- 1 2025年2月期 決算概要
- 2 2026年2月期 業績見通し
- 3 2026年2月期 重点取り組み
- 4 参考資料**

業績推移 1/2

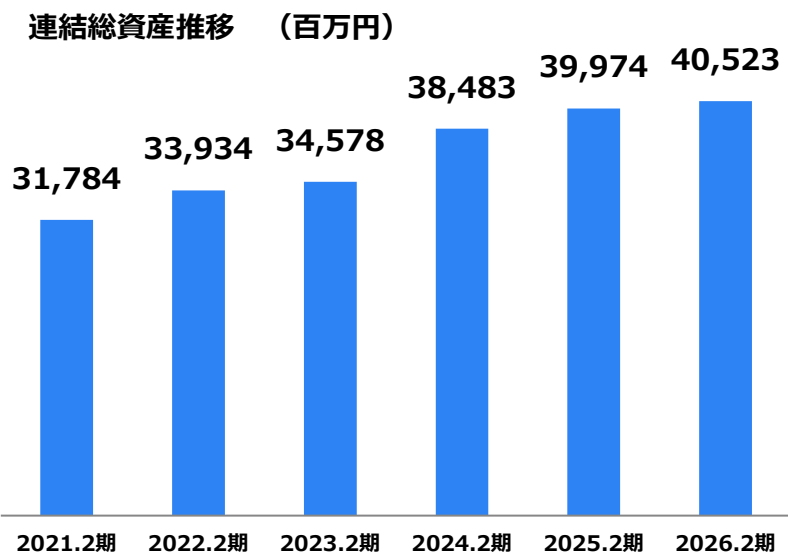
連結売上高推移 (百万円)



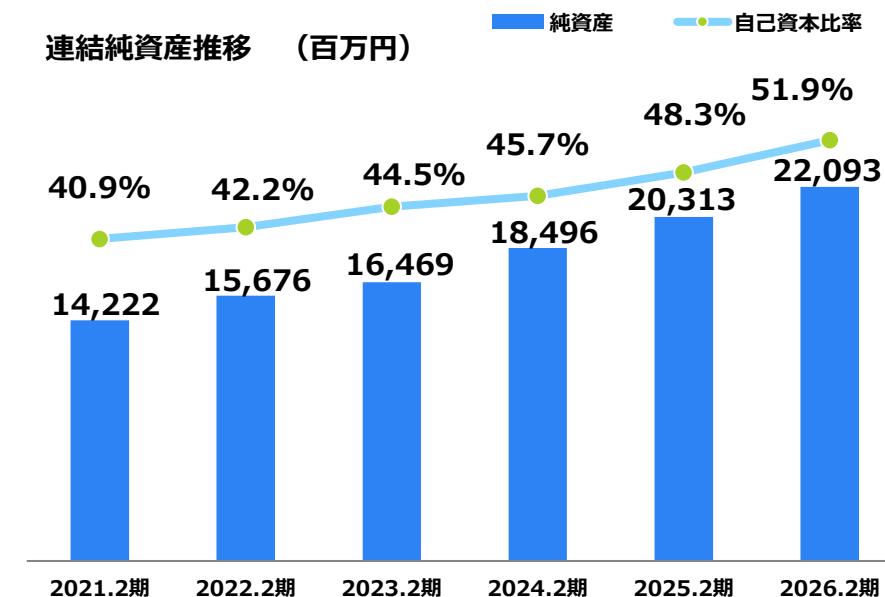
連結経常利益推移 (百万円)



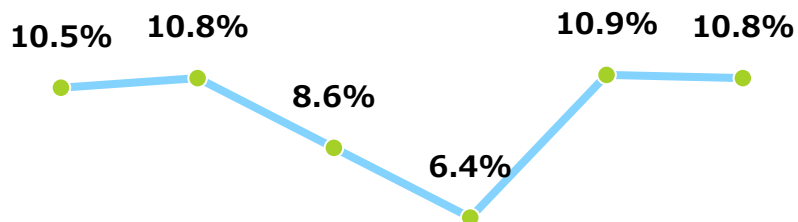
連結総資産推移 (百万円)



連結純資産推移 (百万円)

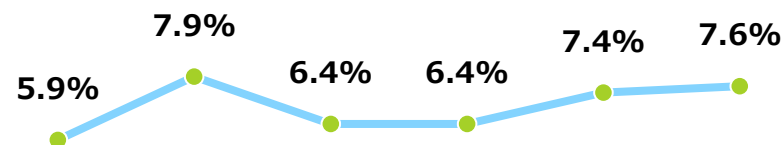


連結ROE推移



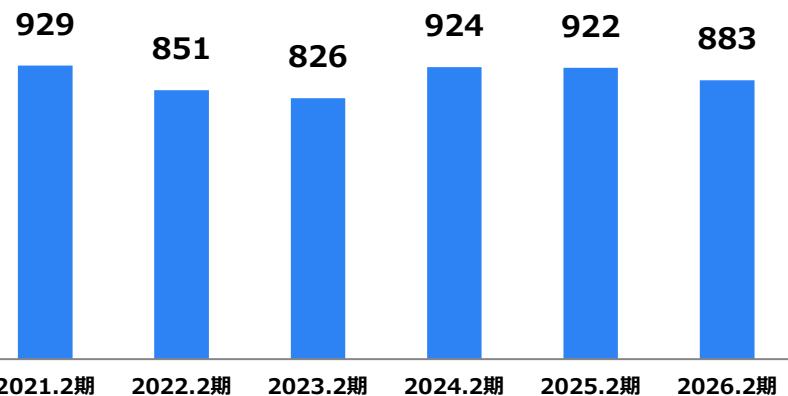
2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期 2025.2期 2026.2期

連結ROA推移



2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期 2025.2期 2026.2期

連結従業員数推移 (人)



2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期 2025.2期 2026.2期

【株主優待制度】

導入の目的

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの皆さまに中長期的に当社株式を保有していただくために導入（2021年2月末から導入）

対象となる株主様

毎年2月末現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元（100株）以上保有する株主様

株主優待内容

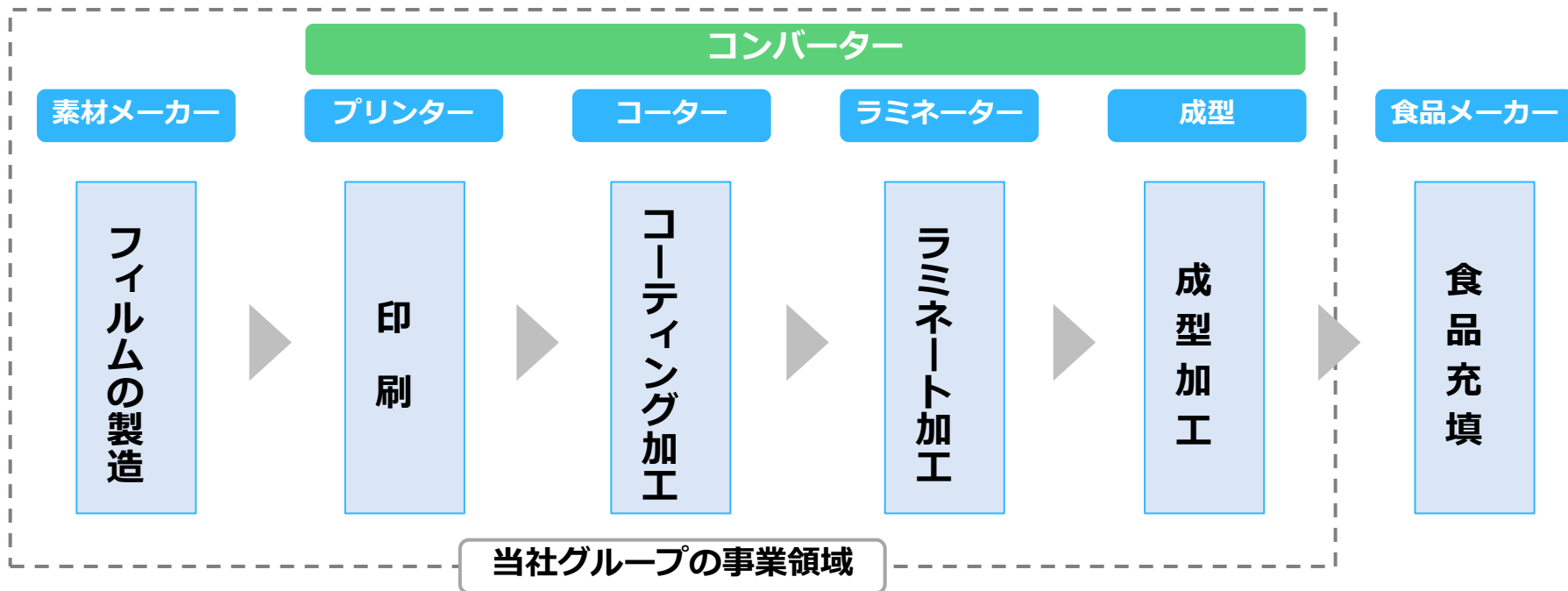
100株以上200株未満	QUOカード1,000円分
200株以上	QUOカード2,000円分

贈呈時期

毎年5月末頃を予定



包装材印刷加工のプロセス（例）



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷（印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷）で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 （ドライラミネート及びサーマルラミネート）	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること（食品用容器、トレー、蓋等） インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン&セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。